

令和6年11月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和6年11月分について、輸出額は「自動車」などが増加したものの、「自動車の部分品」「ポンプ及び遠心分離機」などが減少したことから、対前年同月比0.0%の減少となった。輸入額は「原粗油」「液化天然ガス」などが減少したことから、同8.5%の減少となった。
その結果、差引額は7,724億円（同7.5%の増加）となった。

名古屋港における自動車の輸出額は11月として第1位。
名古屋港における差引額は、平成23年6月以降162ヵ月（13年6ヵ月）連続 全国港別（空港含む）第1位

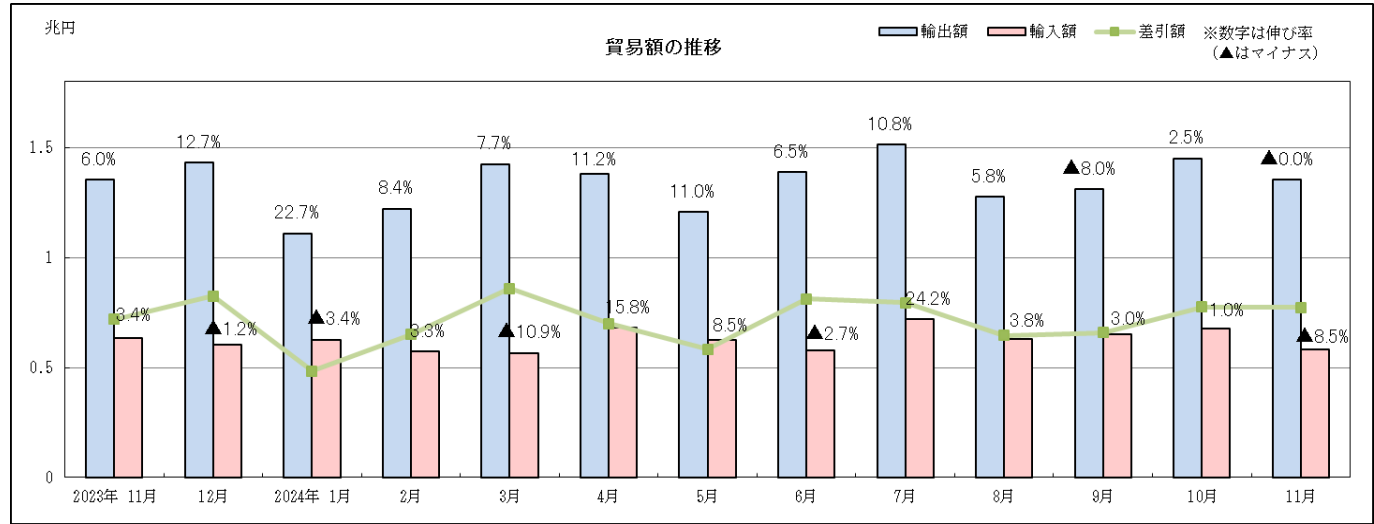
注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

○総額

| 区分 | 輸 出 額 | 伸 率 | 輸 入 額 | 伸 率 | 差 引 額 | 伸 率 |
|------------|------------------|-------------|------------------|-------------|--------------|-------------|
| 名古屋港 | 1兆3,531億円 | ▲0.0% | 5,807億円 | ▲8.5% | 7,724億円 | +7.5% |
| | 2ヵ月ぶりの減少 | | 5ヵ月ぶりの減少 | | 2ヵ月連続の増加 | |
| | 順位 過去 11 位 | 11 月として 2 位 | 順位 過去 25 位 | 11 月として 3 位 | 順位 過去 8 位 | 11 月として 1 位 |
| 管 内（名港シェア） | 2兆1,228億円（63.7%） | | 1兆0,982億円（52.9%） | | 1兆0,246億円（—） | |
| 全 国（名港シェア） | 9兆1,524億円（14.8%） | | 9兆2,700億円（6.3%） | | ▲1,176億円（—） | |

○主な増減品目

| | 概 況 品 名 | 金 額 | 伸 率 | 寄 与 度 | 増 減 |
|-----|---------------|---------|--------|-------|----------|
| 輸 出 | （1）自動車 | 4,553億円 | +6.6% | +2.1 | 2ヵ月連続の増加 |
| | （1）自動車の部分品 | 1,642億円 | ▲11.3% | ▲1.6 | 5ヵ月連続の減少 |
| | （2）ポンプ及び遠心分離機 | 400億円 | ▲11.3% | ▲0.4 | 3ヵ月連続の減少 |
| 輸 入 | （1）原粗油 | 108億円 | ▲70.6% | ▲4.1 | 2ヵ月連続の減少 |
| | （2）液化天然ガス | 336億円 | ▲12.9% | ▲0.8 | 8ヵ月ぶりの減少 |



※名古屋港について・・・
本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。
名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。